



### 【濠端さくら】

鶴岡公園の桜は、明治39年に日露戦争の戦勝を記念して植えられたのが始まりである。現在、ソメイヨシノ始め、八重桜など約700本のさくらがある。

### 【市民の森】

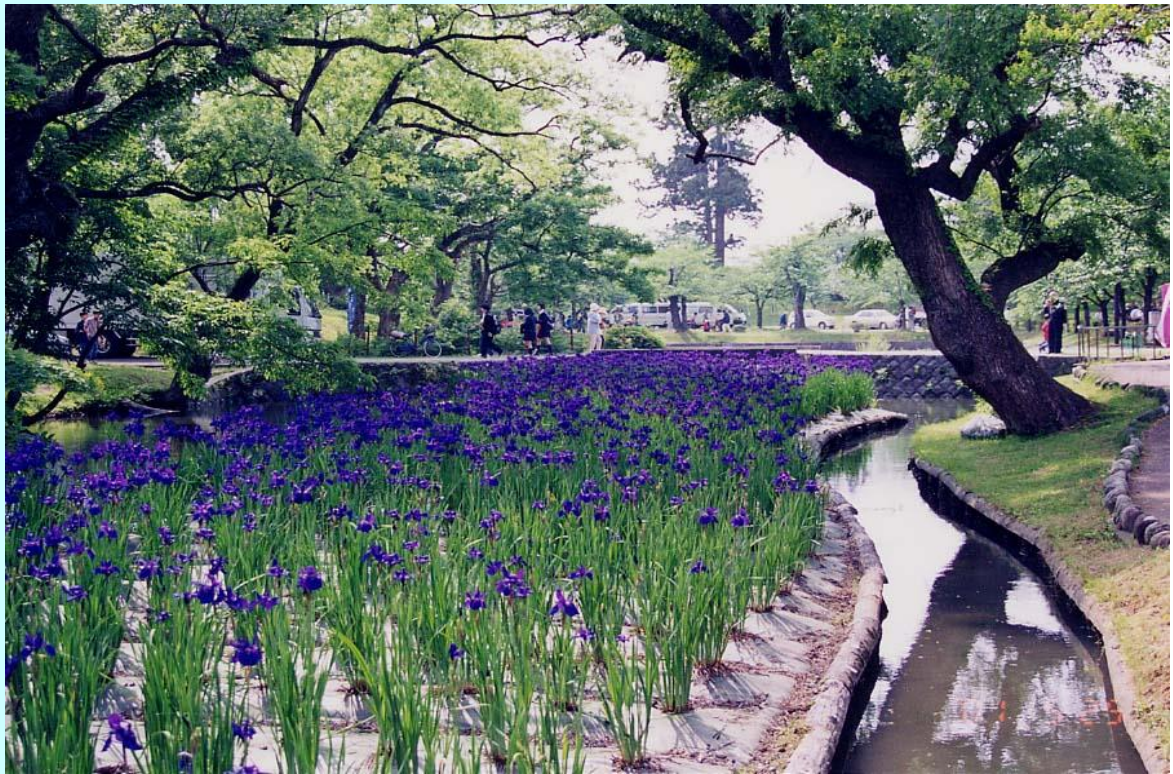
市政50周年を記念して造成した市民の森には神樹、カリン、サンシュユ、ベニかえでなど92種類の樹木が植栽されている。



### 【疎林広場】

みどりの芝生がひろがり、青空の似合う憩いの地が疎林広場。  
滝が流れる水場では親子連れが水遊びをする姿をよくみかける。





#### 【ショウブ園】

ショウブ園には約1,000株のアヤメと花ショウブがそれぞれ植えられている。5月中・下旬頃になるとアヤメが咲き始め、その後2週間くらい遅れて花ショウブが咲き始める。



#### 【藤沢周平記念館】

鶴岡市出身の時代小説家、藤沢周平の作品を深く味わえる拠点として、館内には数多くの作品の資料などが展示されている。

#### 【荘内神社】

鶴ヶ岡城本丸跡地に創建された荘内神社。大晦日から元日かけての初詣、夏の荘内大祭、大名行列などゆかしい行事が多彩である。







### 【公園の紅葉】

秋になると  
赤く、黄色く染めていく  
桜、楓、イチョウ、ナンキンハゼ  
などの紅葉風景が美しい。

### 【「雪の降るまちを」モニュメント】

名曲「雪の降るまちを」の発祥の  
地であることをほこりとし、  
記念モニュメントを設置した。  
スイッチを押すとメロディーが  
聴こえてくる。



### 【鶴岡タウンキャンパス】

昔、百間堀となっていたところに  
慶応義塾大学先端生命  
科学研究所が設立された。  
同所内の図書館は致道ライブラリとして  
市民に開放されている。

### 【大宝館】

大正4年に建設された擬洋風建築で  
現在は人物資料館として  
先人たちの業績、資料などを  
展示している。

